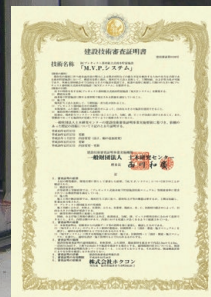
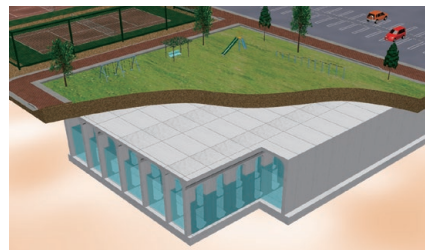


雨水地下貯留槽

M.V.P.システム

防水性能に拘った大型雨水地下貯留槽

製品間の継ぎ目には止水ゴム、
インバートコンクリートとの継ぎ目には
専用の止水板を埋め込み、
高い防水性を実現！



一般財団法人
土木研究センター
建設技術審査証明取得



緊張状況



止水板セット



外目地防水工



底板打継部防水工

特 徴

■優れた耐震性

『プレキャスト式雨水地下貯留施設 技術マニュアル』に要求されている『レベル1』『レベル2』地震動に対し、耐震性能を満足しております。

■容易なメンテナンス

底板部はインバートコンクリートを打設するため、勾配・溝やピットを設けることが可能で、集泥作業等の維持管理が容易に行えます。

■敷地の形状を生かした設計・施工

部材の組み合わせにより敷地形状に合わせた計画が可能となり、敷地を有効に利用できます。

■工期短縮

プレキャストコンクリート製品のため、現場での作業は設置・組立てが大半であり、現場打ち工法に比べると40～50%工期が短縮できます。また、施工管理が容易になります。

斜壁

直壁

河川ブロック

地下貯留

ガイドレール基礎

CD側溝シリーズ

管渠型側溝

道路製品①

道路製品②

その他

計画条件

規格	一辺長	土被り	ふた部材の幅	上載荷重	地下水位
H1500	躯体一辺長が 30m 以下、かつ土被り 1.0m 以下の場合	標準条件内で、上記以外の場合	4.0m 以下	10kN/m ² 以下	GL-1.5m より深い位置
H2000			3.0m 以下		
H2500	躯体一辺長が 30m 以下、かつ土被り 1.5m 以下の場合	標準条件内で、上記以外の場合	4.0m 以下		
H3000			2.0 m以下		
H3500					
H4000	標準条件の場合		4.0m 以下		
H4500					

※標準条件とは躯体一辺長73.5m以下、土被り2.0m以下の施設の場合とします。

※躯体一辺長とは、短手方向、長手方向の各方向における躯体の外形寸法を示します。

※上記に示す条件は、静的計算および耐震計算により構造耐力を十分に有することが現在確認されている条件であり、建設条件を外れる場合は、別途確認を行います。

また、使用条件や維持管理の面から要求される水理的な側面や底面の形状については、別途検討いたします。

付帯設備

①流入本管、副管

流入本管の管底位置は、H.W.L.より上方にすることを標準にしています。副管は原則としては使用しませんが、落下高さが高い場合の水音、跳水の制限、並びに、洗掘の抑制を行う場合に使用します。

②水たたき

水たたきは、洗掘の抑制に有効です。

③点検孔

点検孔は、維持管理のための施設内部への人孔です。

④昇降用FRP製梯子

点検孔の直下には、昇降設備として、耐久性、耐食性に優れ、軽量のFRP梯子を標準にしています。梯子高さが高い場合には、安全背もたれもご用意しています。

⑤見通し良い貯留空間1

躯体は、一方向にのみ壁が並び壁式構造であり、壁と同一方向には、視界を遮るものはありません。そのため、非常に見通し良く貯留効率最大の空間形成になります。それにより、槽内での維持管理も容易となります。

⑥見通し良い貯留空間2

内部の壁には、大きな開口を設けていますので壁と直交方向の見通しも良好です。

⑦洪水吐き

計画以上の降雨が流入する場合には、越流壁を自由越流して洪水吐きから速やかに排水します。

⑧プレキャスト越流壁

躯体は、壁式構造ですので、越流壁も容易にプレキャスト化できます。複合用途施設とする場合の間仕切壁についても、自由な配置、容易なプレキャスト化ができます。

⑨SUS製スクリーン

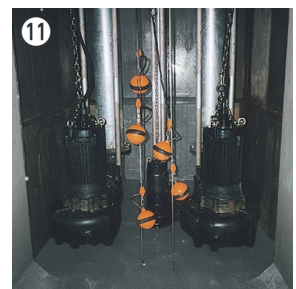
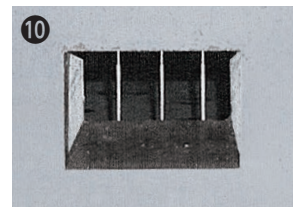
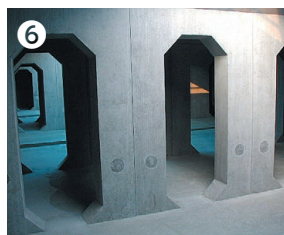
スクリーンの開口間隔は、オリフィスの口径を考慮して決めています。目詰りの危険分散等の機能上、形状は多面体を標準にしています。材質は、耐食性に優れたステンレス製を標準にしています。

⑩オリフィス

計画降雨時において、下流への放流規制を満足するように口径を決めています。

⑪排水用水中ポンプ

原則である自然放流が困難な場合、排水のために必要な動力設備が水中ポンプです。水中ポンプの機種は、全揚程、揚排水量を考慮して選定することが重要です。水中ポンプは危険分散上、複数台の設置を原則にしています。



斜壁

直壁

河川ブロック

地下貯留

ガイドレール基礎

CD側溝シリーズ

管渠型側溝

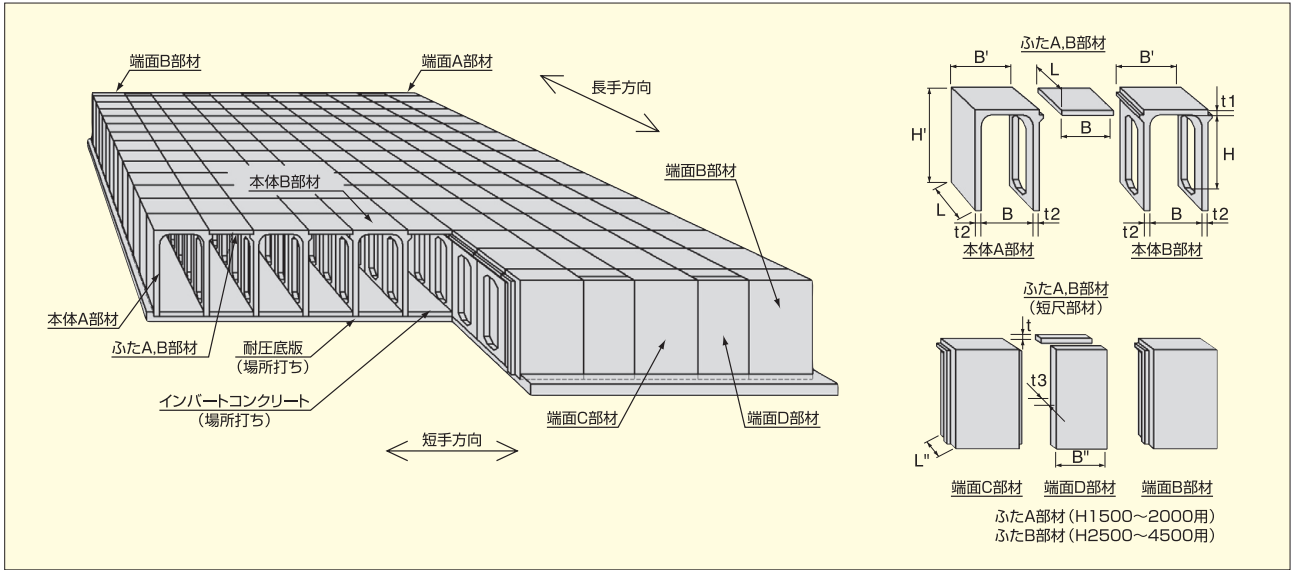
道路製品①

道路製品②

その他

M.V.P.システム

形状寸法・重量



●本体部材、端面部材

規格	重量 (kg)							寸法 (mm)									
	本体A部材	本体B部材	本体C部材	端面A部材	端面C部材	端面D部材	端面E部材	B	B'	H	H'	L	t1	t2	B''	L''	t3
H1500	6820	6580	7060	6880	7075	3525	6685	3000	3400	1500	1900	2000		200		1000	
H2000	7570	7080	8060	8360	8595	4455	8120			2000	2400						
H2500	6550	5835	7260	7210	7465	5380	6950	2000	2500	2500	2900		200	250	2970		250
H3000	7250	6305	8200	8345	8645	6310	8045			3000	3400						
H3500	7955	6770	9135	9480	9820	7240	9140	2000	2600	3500	3900	1500				750	
H4000	10485	8760	12210	11685	12070	8260	11300			4000	4450						
H4500	11330	9325	13335	12915	13340	9185	12490	4500	4950	250	300						

※変形敷地に対応できる特殊部材も用意しております。※端面D部材の質量、寸法B''は、ふた部材スパン2960mm (表中B寸法参照) に対応する数値です。

●ふた部材

部材名称	適用規格	重量 (kg)	寸法 (mm)					
			B	L	t			
ふた A 部材	H1500	5515	3960	1998	280			
		4820	3460					
		2940	2960					
		2445	2460			200		
		1945	1960					
ふた A 部材 (短尺部材)	H2000	2050	3960	748	280			
		1790	3460					
		1090	2960					
		905	2460			200		
		720	1960					
ふた B 部材	H2500	4130	3960	1498	280			
		3610	3460					
		2200	2960					
		1830	2460			200		
		1455	1960					
ふた B 部材 (短尺部材)	H3000	1085	1460	498	280			
		H3500	1360			3960		
			H4000			1185	3460	
						H4500	720	2960
							600	2460
475	1960							
		355		1460			200	

※ふた部材の厚み寸法は荷重条件により、本表とは異なる場合もあります。

斜壁

直壁

河川ブロック

地下貯留

ガードレール基礎

CD側溝シリーズ

管渠型側溝

道路製品①

道路製品②

その他

施工手順

①土工 土留工



②基礎工 砕石工均し・基礎コンクリート工



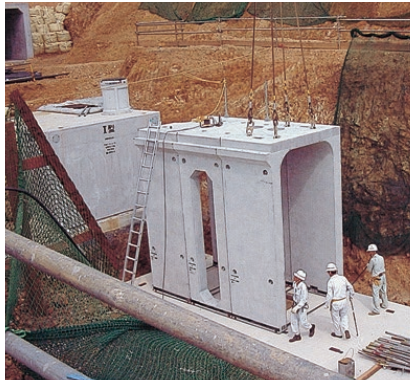
③耐圧底版 鉄筋工



④耐圧底版 コンクリート工



⑤本体部材 据付組立工



⑥端面部材 据付組立工



⑦ふた部材 据付組立工



⑧インバートコンクリート工



⑨付帯設備工



⑩防水工



■竣工（駆体完了）



斜壁

直壁

河川ブロック

地下貯留

ガイドレール基礎

CD側溝シリーズ

管渠型側溝

道路製品①

道路製品②

その他

M.V.P.システム

施工実績

斜壁

直壁

河川ブロック

地下貯留

ガードレール基礎

CD側溝シリーズ

管渠型側溝

道路製品①

道路製品②

その他



名古屋市



豊田市



北名古屋市



本巣郡北方町



四日市市



近江八幡市



京都市



生駒郡平群町

✉ お問い合わせはこちらから

弊社ホームページのお問い合わせフォームへジャンプします。